

大阪経済大学 経営学部

ビジネス法 学科

経営的センスと法務能力を兼ね備えた、次世代を担う人材を育成する。

企業が違法行為によって社会的信用を失うケースが増えたり、海外の企業とのビジネスやネット上の取引などで法的トラブルが複雑化するなど、リスク管理やトラブル解決における法知識・法情報の重要性が高まってきています。

ビジネス法学科では、経営学と法学の両方を学びビジネス法務能力が身に付くカリキュラムを用意し、企業・行政・法曹界で活躍できる人材の育成を目指しています。

ビジ法 特徴



ビジネス法・コンプライアンスを学ぶ。

「経営」と「ビジネス法」、2つの専門をダブルで習得

コンプライアンス（法令遵守）経営が一般化し、経営と法律を学ぶ重要性が高まっています。本学科では専門知識の獲得まで支援します。

多彩な進路に対応した履修サポートで、効率的に学習を深める

ロースクール進学や公務員志向にも対応した自由度の高いカリキュラムを整備。学生の夢や目標に最適な履修計画を指導します。

企業経営の現場、法化社会の最前線が体感できるプログラム

法律ディベート、ケース研究、模擬裁判といった実習科目が充実。裁判傍聴やインターンシップなどの体験型授業も整備しています。

第一部・第二部経営学科の科目履修が可能

経営学部は第一部と第二部の垣根を解消。これによりビジネス法学科の学生が経営学科や第二部の科目を履修することも可能に。

経営学・会計学・商学を学ぶ。

2つの知識を統合すると、社会・企業の将来像が見えてきます。

コース紹介



基礎教育科目

経営と法律の基礎知識

ビジネスローTMコース

企業モデル

現代のビジネス活動に不可欠なコンプライアンス経営に対応できる人を育てる。

資格取得&ロースクール進学

ビジネスの最前線で活躍するための資格。法曹界で活動するための基礎学識を身につける。

公務員モデル

法知識と経営感覚を持った新しいタイプの行政マンを育成する。

アントレコース

事業を創造し経営するために必要なマネジメント知識を習得。特許などの知的財産、日常生活の債権・債務、企業再生にかかる法知識を習得する。

経営学部から生まれたビジネス法学科

木村：本年度がビジネス法学科の完成年度にあたります。

では、ビジネス法学科の企画・設立・運営というハードな面でかかわりつづけてこられました北村先生からお話を伺いたいと思います。大経大の中はもちろんでしょうが、社会全体にもしっかりととした法学教育が必要だという雰囲気がありましたね。いかがでしたか？

北村：5～6年前、学科設置の準備をしていた頃、企業のビジネス姿勢が強く糾弾される事件が多発していました。現在も続いています。これは企業・ビジネス社会におけるコンプライアンス（法令遵守）の意識の欠如です。企業は確かに社会を引っ張る旗手です。しかし、だからといって特権的立場にあるわけではない。当然、社会全体との調和を図りながらの活動が求められています。どうも、その辺が理解されていないのではと思うのです。

木村：では、旧来の法学部教育では何が不足だったのでしょうか？

北村：やはり、法学部教育の中で経営・ビジネス教育がなされていなかったのではと思います。バランスや正義はビジネス社会において現実に直面して問われるものなのです。それを法準則（ルール）間の調和だけに絞っていたところに問題があったのではと思うですよ。

木村：では、ちょっと試験問題風に「大経大のビジネス法学科の特徴を述べよ。」とたずねたら、どのような解答になりますか？

北村：その解答は明快ですよ。大経大の経営学部の中から誕生したことです。他大学にもビジネス法学科はあります。でもこの点が違うのです。



北村 實 ビジネス法学科 教授

副学長

木村：なるほど、「経営学部から生まれたビジネス法学科」ですか。意味深長ですね。

コンプライアンスについて

木村：本ビジネス法学科に着任して頂いて、まだ1年のご経験ですが、長繩先生のご意見をお伺いしたいと思います。先生は本学に着任される前は松下電器の法務部長を務めておられました。

長繩：はい、その通りです。実は、私は大学では法律を専攻していないのです。国際渉外、国際広報、輸出、海外事業の仕事を10年あまり経験した後の法務部異動なのです。思い出しますね。いきなり、米国で提起された独禁法違反容疑の損害賠償請求訴訟と、欧米との通商摩擦の防衛の仕事が私の担当になりました。今から思えば、会社も私もその頃が国際法務分野の係わり合いの出発点であったと思います。

木村：まさにそのとき、本格的な、そしてグローバルな法化社会に突入されたのですね。それはすごい経験ですね。

長繩：その後は、法務トラブルを予防するための全社的な教育（予防法学）と、法律を活用しての会社の権利・利益保護、合併・買収・事業統合の補佐（戦略法学）にも携わってきました。

木村：会社にとっては訴訟（臨床法学）は資金も相当必要でしょうが、訴訟に費やすエネルギーもすごいですね。場合によってはイメージダウンにつながる場合もありますから、やはり予防法学、

進化するビジネス法学科、ビジ法の過去・現在・未来を語る ～北村教授・長繩教授・木村教授による対談～



長繩 友明 ビジネス法学科 教授

松下電器産業(株)法務本部元国際契約部長、同元法務部長

戦略法学が重要になるんですね。

では、先生がコンプライアンスを意識されるようになられたのは何が原因ですか？

長繩：企業法務部で仕事をしていますと、技術、製造、営業、会計経理、人事等の各部門に固有の法律の網がかかっている様子がよく見えます。すべての部門でコンプライアンスが必要です。これは会社が社会に存続する上で決定的に重要な要素です。

法がぶつかるビジネス・シーン

木村：現在、大経大で教える立場におられますか、「法」への思いなど、お変わりになりましたか？

長繩：特に変わりませんね。わたくしの場合、講義で心がけているのは、受講生に「法がぶつかるビジネス・シーン」を話しながら、裁判所の法の適用、行政の法の運用を説明することです。

木村：いや、「法がぶつかるビジネス・シーン」という言葉を聞くだけでワクワクしますね。わたくしたちの学生時代はほとんどといってよいほどそのような講義はなかったですね。北村先生、いかがでしたか？

北村：ありませんでした。ビジネスの世界と法の世界の間はほんとうに離れていました。「法がぶつかるビジネス・シーン」。新鮮なフレーズですね！ ビジネス法学科でいただきましょうよ（笑）。

長繩：従来の法学教育でしたら、「契約自由の原則」というと、契約当事者は対等平等で取引をするのだというイメージで講義を進めるわけですが、ビジネス世界では契約締結がキーポイントなのです。紳士間の交渉ではないのです。一字一句から法的知力のぶつかり

あいですよ。契約条項をどのように提案するか、修正するか。ほんとうに社運をかけるときだってあるのです。

卒業生の進路、これから・・・

木村：では、話題を変えて気になる就職状況のお話を北村先生にお伺します。来春はじめて、ビジネス法学科の学生が卒業するのですが、現在の段階での就職状況はいかがですか？

北村：7月初旬現在の結果なのですが、なかなか好調です。大手の金融・証券・不動産などから順調に内定をもらっているみたいですね。10月1日までは「内定」と言えないのですが、たとえば私のゼミですと公務員志望以外はほぼ全員「内定」しています。

木村：最後に、北村先生から受験生になにか一言いただけませんか？

北村：ビジネス社会は法能力を備えた人材を求めています。したがいまして、大経大は今年4月からビジネス法学科の入学定員を100名から150名に増やしました。教員もスタート段階では10名でしたが来春は17名になる予定です。大学院経営学研究科には来春から、ビジネス法コースを設け、ビジネス法全般とともに特に金融・税分野と不動産分野の専門性の高いプログラムを用意しています。学部を卒業し、しばらくビジネス世界で経験を積み、もう一度夜間を利用して大学院で学ぶという仕組みも準備しました。まさにビジネス法学科は進化し続けています。

木村：お忙しい時間を今日の対談にさいていただきありがとうございました。

木村 俊郎 ビジネス法学科 教授

経営・ビジネス法情報センター長
[座談会司会者]



4 years memory

～先輩からビジ法を担う君たちへ～

Q ビジネス法学科はどんな学科？

- ①ビジネス法学科で何を学びましたか？
- ②4年間で頑張ったことは何ですか？
- ③ビジネス法学科の良い所・特徴はなんですか？
- ④なぜ高校生の時にビジネス法学科を選んだのですか？

- ⑤ビジネス法学科で学んだ講義で役に立った or 楽しかった授業
- ⑥自分の将来像
- ⑦取得資格



総合人材サービス会社就職見込み

- ①ビジネス（仕事）に関する法律はもちろん、これから生きていく上で必要になってくることや法律。また、授業を受ける中で経営と法律との密接な関係について多く学びました。
- ②法律の授業&アルバイト（寿司屋）
- ③基本は経営学部なので、マーケティングやファイナンスなどの経営分野と関連させて法律を学ぶ雰囲気が特徴です。
- ④内容も設置も「新学科」という感じで魅力を感じました。
- ⑤民法総論・契約法・不動産法・税法
- ⑥就職予定の会社の仕事も、当然法律の仕組みの中での人材ビジネスです。法律&経営を生かして自分で事業を起こしたいです。
- ⑦なし



外資系不動産会社就職見込み

- ①多くの事の理由を考えることを得ました。
- ②バスケットボールの審判活動を始めました。4年間で近畿地区はもちろん全国規模の講習会に参加したり、たくさんの場所に行き、多くのことを経験できました。
- ③法律関係の授業に拘わらず、経営学や経済学の授業にも参加しやすいため、一つのことに固執した知識・考え方だけでなく、広い視野で多角面から多くの事を考える事ができました。
- ④法学部を目指して受験勉強していましたが、法律の知識だけでなく多くの知識を学びゼネラリストになりたいと思ったからです。
- ⑤民法総論、マネジメントゲーム、専門演習
- ⑥大学の授業で学んだ法律知識を活用し、多くのことに挑戦したいです。
- ⑦宅地建物取引主任者（予定）



大手証券会社就職見込み

- ①条文にもどって制度を正確に把握すること。理解し主張する際の根拠の大切さ。
- ②マンドリンクラブが学生生活の軸でした。証券マンになるべく関連資格を取ることも熱心でした。
- ③マネジメント（経営）と法的な考え方方が両立し補い合うのだということが分かったこと。
- ④経営・法律をともに学ぶというのが「役に立つ」と直感的に思ったから。
- ⑤契約社会と言われる世の中で、契約法の授業は興味を引きました。
- ⑥クラブのリーダーとして培った力（人の信頼を得るということ）を大事にしてビジネスマンとして大きくなる。
- ⑦法学検定3級、全国珠算連盟暗算2級、二種証券外務員、ファイナンシャル・プランナー【AFP】（予定）





広告代理店就職見込み

- ①経営に必要な法律の調べ方と読み方。
- ②私は大阪育ちなので他府県の友達をたくさん作りました。それから勉強も。
- ③純粋な法学部と違って様々な分野の教授がいるので、刺激され視野が多方面になる。
- ④法律と経営の両方に興味がありピッタリの学科だったから。
- ⑤民法総論、契約法、損害賠償法、リーガルリサーチ
- ⑥大学と今後の仕事を経て、15年後に独立した社長になります。
- ⑦社長に資格は不要です。



都市銀行就職見込み

- ①法律は決して遠いものではなく、「生活やビジネスの中にある」ということ。金融の仕事でもその感覚を生かします。
- ②アルバイト。喫茶店と不動産鑑定士事務所。
- ③法律ディベートや模擬裁判など主体的に学べる授業が多いこと。
- ④法律と経営の両方を学べることに魅力を感じた。
- ⑤企業倒産法、契約法、有価証券法
- ⑥F P（ファイナンシャルプランナー）として資産運用のプロになる！
- ⑦F P 3級、法学検定 3級



金属製品製造会社就職見込み

- ①物事を法的に照らし合わせ、自身の行動指針として身に付きました。
- ②大学の内局でStudent Assistantとして働いてきたことです。今、皆さんのが手にしている冊子など経営学部のパンフレットなどを学生や教員、職員と協力して作成してきました。
- ③規模があまり大きくなっていることもあり、教員との距離が非常に近い。この大学で多くの事に挑戦し、失敗もし、いろいろなことを経験させていただきました。
- ④法律を勉強したかったが、法律だけに縛られず多方面の勉強をしたかったから。
- ⑤民法（契約法・損害賠償法）、経済法、民事訴訟法
- ⑥勉強だけでなく、この大学で経験した事を糧として、社会で活躍できる人間になりたいです。
そして、持ち家を購入し、家庭を築く。
- ⑦高等学校教諭一種免許状[公民科・商業科]（予定）、法学検定 3級、マイクロソフトオフィススペシャリスト



都市銀行就職見込み

- ①友達の大切さ。授業は真剣に取り組めば楽しいということ。
- ②クラブ活動・ゼミの模擬裁判。人の為に何かを出来る楽しさを改めて感じ、進路選択にも影響。責任感が身につきました。
- ③先生方が親しみ易い。資格取得や知識欲に対して必ず親身になってくれる。新しいからこそ、新たな取り組みが多くある。（ゼミ合同の模擬裁判など。）
- ④法律だけでなく、最低限必要な金融知識が得られると思ったから。
- ⑤会社法、民事訴訟法、模擬裁判、企業倒産法
- ⑥資産運用のアドバイザー。笑顔を忘れず親しみ易い行員になり、銀行の敷居を低くしたい。
それから、子供が家に友達を呼びたくなる様な家庭を持ちたいです。
- ⑦法学検定 4級、販売士 3級、秘書技能検定 3級